

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2026年 3月 10日		2026年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	17
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会性・コミュニケーションの発達を促すことに重点をおき、個別や集団などさまざまな形態の療育を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ESDM・CARE・JASPERなどエビデンスに基づいた専門的な知見を取り入れて療育を行っています。 個々の状態をアセスメントし、ひとりひとりに合わせた支援を実施しています。 集団療育の中でも必要に応じて個別的な対応を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もスタッフの研修機会を確保し、個々のスタッフのスキルアップを図っていきます。 幼稚園・保育園との連携により、日常生活の中での状態をアセスメントし、療育で獲得した社会性やコミュニケーションの力を生活全般に汎化できるように促していきます。
2	保育士・児童指導員・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師といった多職種がかかわり、多様な視点で支援を実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> 特定の領域にかかわらず、5領域全般を意識した多様な視点で、子どもの状態を評価しています。 お子さんの課題だけでなく、強みを把握し、生活の中で生かすことができるように支援を実施しています。 各職種のスタッフが、それぞれ専門的な視点からお子さんをアセスメントし、目標を設定して支援しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 各職種の視点を全体で共有する場をさらに意識して確保して共通理解を深めていきます。
3	子どもだけではなく保護者の支援にも重点的に取り組んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> 個別療育は保護者同席で行い、保護者が子どもに対する理解を深められるようにしています。 日々の送迎や定期的な面談などで保護者とやりとりし、お子さんについて保護者と共通理解に立って支援できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の保護者のニーズに応じて、フレキシブルに面談の機会を設定するなど、保護者ひとりひとりに合わせた支援を行っています。 またペアレントトレーニングの実施と座談会の実施を予定しています。
4	医療機関と密接に連携を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> 同じ法人内の併設している医療機関にて行った心理検査などのアセスメント情報を収集し、支援計画や日々の活動に取り入れています。また療育の様子を医師が観察、こちらからも情報提供をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き情報のやり取りを行う機会をより密に設定していきます。 アセスメント情報だけでなく、そのほかの情報についても収集し、本人への支援だけでなく保護者支援にもつなげていきます。
5	心理検査やエビデンスのある療育の中で行われるアセスメントを取り入れています。	<ul style="list-style-type: none"> 各スタッフが研修、有資格者によるスーパーバイズを受けながら、実際にそれぞれのお子さんに向けたアセスメントをとっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、事業所内・外の研修を通して心理検査やエビデンスのある療育の中で行われるアセスメントの視点を学びます。 学んだ内容を療育の現場の中で経験的に学んでいきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 地域の幼稚園・保育園、他事業所との連携をより行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 人員や時間的な余裕がないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な人員の配置を行い、積極的に地域の幼稚園、保育園、他事業所との関係づくりに努めます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ときわ発達支援センター	公表日	2026年	3月	31日
		利用児童数	2025年	12月	1日現在 92名
			回収数 80		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	71	6	0	3	・もう少し広さがあると運動しやすい。 ・行動しているところを見ていないので分からない。 ・のびのびと活動しているようです。	・規定通りのスペースを確保しておりますが、引き続きできる範囲で環境調整を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	69	1	0	10		・既定のスタッフ人数より多く職員を配置し、それぞれの専門スタッフ等で話し合い支援に役立てております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	74	1	0	4	・情報伝達が子どもにわかりやすくなっていると思います。	・今後も視覚的な支援も含め、お子様が安全かつ安心して活動できる環境を提供できるよう配慮していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	70	5	0	5	・性質上、閉鎖的（かぎをしめる）ためいたしかたないが、圧迫あり。 ・見学できるようになったら嬉しい。 ・ほこりがあったりするので清潔とはいえないと思います。 ・スロープがない。（ほかにあるのかだけでも） ・ただ、本人は悪くもっていないようです。	・今後もお子様が安全かつ安心して活動できる環境を提供できるよう配慮していきます。 ・清掃等の環境整備に取り組んでまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	74	2	0	4	・まだ利用開始したばかりのためわかりませんが、利用計画の開示でその支援が受けられそうです。 ・療育に連れ始めてからすごく成長を感じています。 ・子どもの特性に応じた支援をいただいています。 ・他の所と比較したことが無いので正直あまりわかりません…。	・引き続き、お子様の特性に配慮した支援を提供していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	76	0	1	3		・支援プログラムに合った支援内容となるよう努めています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	73	3	1	3	・まだわかりませんが、主治医の診察や普段の活動+親との面談で分析されている気がします。 ・子どもと保護者のニーズや課題を把握し、児童発達支援計画を作っています。 ・親からも聞き取りして下さい。	・引き続き取り組んでいます。
	8 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	72	2	0	5	・本人支援、家族支援をたくさんしてくださっていて助かっています。	・引き続き取り組んでいます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	72	1	0	6	・児童発達支援計画に沿った支援をしてくださっていると思います。	・今後も個別支援計画に沿った支援を提供していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	70	2	0	8	・子どもから今日したことを聞く毎回違うことをしていることがわかります。 ・子どもの二カテな事や発達の状況をふまえてプログラムを組んでくださっているかと思えます。 ・数ある内容から選んだりできていて、子供も楽しんでチャレンジしています。	・引き続き取り組んでいます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	26	8	17	29	・私の把握不足かもしれませんが、どちらともいえません。 ・交流はわかりませんが、「このはな」で十分に他の子と交流できている。 ・活動の中で、他の子との交流はないと思う。	・時間や場所などの関係もあり、他の施設のお子さんとの関わりは持つ機会がありませんが、「このはな」組では、他の保育園や幼稚園のお子さんも通っており、普段うちこのあまりないお子さんとの交流もあります。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	78	2	0	0	・契約時に説明ありました。	・引き続き取り組んでいます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	79	0	0	0	・児童発達支援計画を見ながら説明してくださいました。	・引き続き取り組んでいます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	72	2	1	5	・勉強会ではなかなか聞けない情報を聞けてすごく為になります。 ・行われているが、仕事の都合で参加していない。 ・情報提供してくださっているので助かっています。	・引き続き取り組んでいます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	73	6	0	1	・伝えて下さるが、短時間なので理解はかんたんではないと思う。 ・毎回本人の状況を確認し合えていて、安心感があります。 ・相談や発達状況を報告しあったりしているので助かっています。 ・毎回、おむかえの時に具体的に話をしてもらえ、情報の共有ができてる。	・今後も保護者様との情報共有を行い、お子様について共通理解ができるよう努めます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	76	3	1	0	・いつも相談に乗ってくれています！！ありがとうございます。 ・定期的に面談を行ってくださったり、助言をしてくださいつも助かっています。 ・疑問点とかにも嫌がらずに対応してもらえ助かっています。	・引き続き取り組んでまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	75	4	1	0	・いつも感謝しております。	・引き続き取り組んでいます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	49	8	3	17	・きょうだいのことも気にかけてもらえてる。	・次年度はペアレントトレーニングの後、座談会も予定しております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	69	3	0	7	・相談した際に迅速に対応していただいて感謝しております。	・引き続き取り組んでいます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	74	5	0	1	・子どもの意思を教えてください、育児に活きたり、実践したりしています。	・今後も日々の送迎時や連絡ノートだけでなく、必要に応じて電話なども使用し情報伝達していきます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	71	2	3	4	・通信を通して活動内容を文章、写真をみて知ることが出来、わかりやすいです。	・自己評価に関しましては、ホームページにて公表しております。 ・活動の様子等は、送迎時や通信にてお伝えしております。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	75	2	0	3	・デイ等で写真はのせていかに確認があったので、あったら嬉しかった。 ・十分に留意されていると思います。	・契約の際必ず写真掲載に関する確認を取っておりますが、不十分な点があったかもしれませんが、今後も十分に配慮していきます。	
23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	73	3	0	4	・こちらがまだ確認できてないが、してくれてる。（書面でおそらく）	・各種マニュアル等策定し、訓練等はグループ療育に連れていっているお子様は実施しております。	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	66	2	1	11	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・わからない。 ・定期的に訓練が行われているかわからない。 ・活動時に避難訓練をしてください、身についてます。 ・やっているとは聞いています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「なのはな」組は毎月、「たんぼぼ」組「このはな」組は年1回避難訓練を行っております。個別療育のお子様は行っておりませんが、スタッフには、非常災害時の対応に関して周知しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	77	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・安全確保をした上で支援していただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安全確保に努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	69	2	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・事故に遭遇しておらず評価できない。 ・転んだりしたら都度報告してくれています。 ・今までにないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も事故の無いよう支援していきます。万が一事故が発生した場合には、速やかに連絡、説明が行えるよう努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	78	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安心感をもって通所しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子様が安心して通えるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	72	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・朝は行き渋りがあり大変な時もあるが帰ってくる時は笑顔で楽しんで来てくれている。 ・行けば楽しんでいるが、たまに行き渋る時がある。 ・たのしみにしていて現在のいきしぶり。 ・明日ときわセンターだよ、と声をかけると毎回やったー！と腕を上げて喜んでいきます。 ・毎回、とても楽しみに通っています。 ・カウントダウンするほど楽しみに通所しています。 ・いつも楽しみにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もお子様が楽しみに通える場所となるよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	74	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・通所をはじめまだ数か月ですが、幼稚園でも自宅でも少しずつ変化が見られており、とても感謝しております。 ・ムリかもしれないが、写真などやノートにできごと等かいてあるとうれしいです。（口頭でしかわからないので） ・ほぼ満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「このはな」組では、連絡ノートに関して、療育時間内に記入することが難しく、連絡事項があるときのみとさせていただいております。保護者様の知りたい内容に関して、できる限り対応していきたいと考えております。必要に応じて面談等組ませていただくことも可能です。お声がけください。 ・今後も、お子様、保護者様に満足いただける支援を行ってまいります。ご意見等ございましたら、遠慮なくお聞かせ願います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 と き わ 発 達 支 援 セ ン タ ー

公表日

2026年 3月 31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	2	・お部屋の構造化や、目的に応じてお部屋を移動するなどしています。	・再度、お部屋の構造化を行い、お子さんが静かに安心して過ごせるエリアの設置や、活動に応じたエリア分けすることで、快適に過ごせるようにします。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	・規定の人員よりも多数のスタッフを配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	1	・一人ひとりにあわせてスケジュールの用意や、環境設定を行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	2	・日々の清掃だけでなく、玩具の消毒なども毎日行っています。	・清掃の方法、手順の見直しを行いより清潔な環境になるよう努めていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0	・静養室、個別療育室、自立課題、1対1の課題の部屋など必要に応じて個別で利用できる部屋を用紙しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14	2	会議の中や個別の面談の中で意見等を話せるようにしている。	・スタッフ個々の意見をくみ上げつつ全体でも共有できるようにしていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	・会議の時だけでなく、日々の打ち合わせの中でも話す機会を設けています。また個別に面談も行い意見の把握と業務改善につなげています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	16	0		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	・内部、外部の研修参加の機会を設け、参加を促しています。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0	・支援プログラムはホームページで公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0	・お子様に合わせた評価ツールを使いアセスメントを行っています。また医療との連携により各種検査結果を共有し支援に活かしています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	・会議の中だけでなく、日々の打ち合わせのなかでもお子様の様子や支援に関して話し合いお子様に対し最善の支援ができるよう心がけています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0	・会議の中で話し合い、様々な視点から支援できるよう個別支援計画書を作成しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0	・確認しています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0	・それぞれの支援項目に沿って、具体的支援内容を設定しています。	

坂の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0	・多職種で専門的な視点からの意見を出し合い、計画を立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	・各専門職が専門的な視点を加え、季節感も取り入れながら、オリジナルの活動を考え固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	・お子さんの特性や日々の様子の変化などにも応じて個別活動と集団活動を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	・会議の時だけでなく、毎日の打ち合わせの中でも確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	0	・業務上支援終了後の時間だけでは不十分なため、次の日の朝の打ち合わせの際にも気付きを共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0		・引き続き取り組んでいます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		・引き続き取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0		・より一層取り組んでいます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0		・引き続き取り組んでいます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1		・引き継ぎ内容に関して、広くスタッフに周知できるようにしていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	16	0	・札幌市内のセンター会議への出席や、南区の自立支援協議会への参画、センター研修会の開催や地域マネジメント業務などを通して、他のセンター・事業所等と連携し、地域全体の質の向上に取り組んでいます。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16	0	・研修参加の機会を設けるとともに、参加を促しています。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16	0	・参加しています。	・今後も参加していきます。
	31	(31は、事業所のみ回答)	16	0		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	6		・地域の幼稚園や保育園との交流は難しさを感じています。引き続きどういった形で取り組めるかを検討していきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	・面談、送迎時の情報共有など日々情報共有し、共通理解をもって支援するよう心がけています。	・引き続き取り組んでいます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0		・引き続き取り組んでいます。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		・引き続き取り組んでいます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0	・必ず同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	・個別支援計画書作成時の面談だけでなく、必要に応じて、面談や電話などで相談に応じ、必要な支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	0		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		・引き続き取り組んでいます。
	41	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	0	・通信の発行をしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0		・引き続き取り組んでいます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		・引き続き取り組んでいます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	5		・引き続き取り組んでいます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0	・マニュアルを作成し、必要な訓練に取り組んでいます。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	・計画を策定し取り組んでいます。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	・スタッフ内で改善策を共有し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	・1年に1～2回は研修を行い、適切な対応を心がけています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0		